

平成30年第1回高梁市教育委員会（定例）会議録

1. 招 集 平成30年1月23日 午前10時00分
2. 開 会 平成30年1月23日 午前10時00分
3. 閉 会 平成30年1月23日 午前12時00分
4. 会議の種別 定例会（第1日）
5. 会議の場所 高梁市役所 4階会議室1、2
6. 出席、欠席した委員の番号及び氏名

議席番号	氏 名	出欠の別	備 考
1	吉 川 昭	出 席	
2	山 内 廣 子	出 席	
3	川 上 は る 江	出 席	
4	和 久 野 慶 子	出 席	

7. 説明のため会議に出席を求められた者の職氏名

職 名	氏 名	備 考

8. 会議に出席した者の職氏名

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	小 田 幸 伸	
教 育 次 長	宮 本 健 二	
参 与	田 村 啓 介	
教 育 総 務 課 長	大 福 克 志	
学 校 教 育 課 長	張 谷 孝 文	
社 会 教 育 課 長	渡 辺 丈 夫	
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	川 上 啓 二	
文 化 セ ン タ ー 所 長	山 崎 一 広	
教 育 総 務 課 課 長 補 佐	西 川 優 子	

9. 会議に付した議案の題目及びその結果

議案番号	件名	結果
報告第1号	高梁総合文化会館運営委員会委員の委嘱について	承認
報告第2号	高梁市の一貫教育全体構想図について	承認
議案第1号	高梁市体育施設条例の一部を改正する条例	可決
議案第2号	高梁市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則	可決

10. 会議録署名委員の番号及び氏名

第1番 吉川 昭

第2番 山内 廣子

11. 議事の内容

別紙会議議事要録のとおり

第1回教育委員会（定例）会議議事要録

1. 開会

教育長あいさつ

このメンバーで2回目の新年を迎えた。今年もよろしく願います。

現在、市政、教育委員会事務局の状況について2点についていくらか話し、挨拶に代えさせていただく。

一つ目は、行財政改革と平成30年度の予算において、今後の交付税、税収等の歳入を考えた時、今のままの状況で市の財政運営を行うことはできないことは事実であり、それに伴い、行政の在り方も含めて、平成29年度から33年度の期間で、将来の人口減少を見据えた行財政基盤の確立を図るための高梁市行財政改革プランもスタートしようとしている。

先の本部会議では、行財政改革プラン（現状課題、行財政改革の基本方針、具体的な取組みとして、推進体制、行政運営改革、財政運営改革、行政サービス改革等）について審議、実施計画、指定管理の在り方等について論議している。

こういったことが最も反映されるのが、予算である。予算要求時に、歳入と比較して歳出が約19億円多い状況で、現在ヒアリング等が進んでいるが、教育委員会の予算も当然厳しいヒアリングを行っている。そうした中でも、削るものはしっかり削り、新たな施策を展開する原資をねん出する必要もあり、この予算、行財政改革は、昨年度準拠からの発想の転換、民間活力の導入等幅広い視点からのアプローチ等が必要になり、職員一人一人の考え方、発想を問われることになりそうである。

二つ目として、様々な施策が計画段階から、徐々に運用、実施段階へ入ってきた。

再編の計画は、地域で説明すれば、徐々に具体的になってくる。一貫教育の内容や運用方法もかなり明らかになり、来年度から計画的に進む。成羽複合施設が具体的な作業に入る。吉岡銅山の調査が動き始める。神原スポーツ公園多目的グラウンドが完成し、実際の運用に入っていく。

様々な計画・施設を作るだけで、後は投げ放しの行政だけは避けたい。心して、行政運営に当たりたいと思う。

2. 前回教育委員会の報告

教育総務課課長補佐	平成29年第12回教育委員会（定例）会議録朗読
教育長	前回の報告に対する質問、意見等はあるか。 なければ承認の挙手を願いたい。 (全員挙手)
教育長	前回の会議録は、承認する。

3. 教育長の報告

(1) 学校統廃合関係

1月15日～1月25日	高梁市立学校再編推進審議会中間まとめ説明会
-------------	-----------------------

(2) 議会関係

12月22日	本会議
1月23日	議会研修会

(3) 行事等

12月21日～12月22日	吉岡銅山関連遺跡調査委員会
12月28日	仕事納め
1月4日	仕事始め
1月7日	成人祝賀式
1月11日	校園長会
1月12日	行財政改革推進本部会議
1月14日	消防出初式
1月17日	児島虎次郎を偲ぶ絵画展表彰式
1月18日～1月21日	備中松山藩無血開城150年
1月22日	県PTA研修大会

4. 議事

教育長	報告第1号「高梁総合文化会館運営委員会委員の委嘱について」は、議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か質問等はあるか。なければ承認に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長	報告第1号は、承認する。
教育長	報告第2号「高梁市の一貫教育全体構想図について」は、議案に沿って事務局より説明。
教育委員	ただ今の説明について何か質問等はあるか。
学校教育課長	高梁市の一貫教育全体構想図の「知・徳・体の調和のとれた成長をする人」について、中学校と高等学校の「連携」がないが、あえてないのか。
教育長	高等学校については、義務教育からはずれる。連携は大切な事で、連携をしていくが、市立に進学する子供もいれば、市立以外に進学する子供もいる。特に小中の連携については、しっかり行っていきたいというところである。
教育委員	「連携」をつけた方がよいか。
教育長	高梁市は、高等学校も含めて教育全体を見ているというイメージを強く持っていたので、中学校と高等学校の「連携」がないことに違和感を覚えた。普通の人が見たら、なぜ中学校と高等学校に「連携」がないのかと思うかもしれないと思った。
教育次長	今日の意見は、(構想図に) 反映させるべきか。
教育委員	反映させるべきは、反映させるべきと思う。 (中学校と高等学校を「連携」させるよう) 修正すべきと思う。
学校教育課長	「キャリアプランニング、コミュニケーションスキル」は、高等学校だけになるのか。
学校教育課長	高等学校のキャリアプランニングやインターンシップは、小中学校の職場見学や、職場体験とは少し異なる。意味合いが違うので、高等学校からもらった意見により高等学校だけにキャリアプランニングやインターンシップを入れている。実際にし

教育長	<p>ている事を、ここに取り出している。</p> <p>表の縦に伸びている枠は、一貫して行うもので、表の横が、そのことを就学前、小学校、中学校、高等学校それぞれで、各学校で行っていくものである。</p>
教育委員	<p>知・徳・体の調和のとれた成長をする人のところで、高等学校は、義務教育ではないので、連携はするが、施策としては行い難いので、記載していないという理解でよいか。</p>
学校教育課長	<p>小学校と中学校の「連携」については、先程説明したとおりであるので、この場ですべてについて協議していただければよい。</p>
教育委員	<p>中学校と高等学校の「連携」をあえて入れるのがよいかどうか。</p>
教育委員	<p>「接続」は分かるが、「連携」については、実際どのような「連携」を行うのかが見えない。年1回行うと連携になるのか。継続的定期的に行うので連携になるのか見えて来ない。</p>
学校教育課長	<p>小学校から中学校へ上がる時、情報交換の実施や、学習や教育の研究会などを、小中が連携して実施した。また、小中連携教員を現在配置している。小学校の教員が中学校の授業を見に行く、中学校の教員が小学校の授業を見に行くなど、教員が相互に情報交換できるようにしている。今までは、小学校は小学校の中で、中学校は中学校の中で、互いの授業を見るだけであった。</p>
教育長	<p>メディアコントロールは、昨年度から高梁東中学校区で取り組んでいる。現在は、全市内に広がっており、小学校中学校が連携している。特にメディア等で取り上げられたのは、成羽中学校で「9時だよ全員終了」という合言葉を作り、成羽中学校の生徒会が、成羽小学校の児童会へ出向き、小学校においてもそういった取り組みの必要性を伝えている。</p>
教育長	<p>付け加えると、小学校と中学校の授業方法において、中学校になると授業方法がまるで変わってしまうという事を防ぐために、授業のルールを調整したり、中学校の先生が小学生に授業をしたりする具体的なものもあり、キャリア教育を小中連携して行う、その中には小学校と小学校が連携してというものもある。連携について高梁市は、全県的に見てもかなり進んだ状況である。それほど進んだ状況を連携と言っており、高等学校へは情報を出し、高校生が中学校へ時々出向くが、市立の場合はそこまでしていない状況があり、県立もイメージはしているが、小中学校でかなり進んだ状況にあり、そのための教員を配置してまでも行っているのに比べると少し弱い。ここでは重点的な事のみ書くので、学力向上などまだ書く必要のある事は多くあるが、選択に選択を重ねた中の「連携」ほど強くないので、中学校と高等学校の「連携」は入れることができないかもしれないという所が実際にあった。</p> <p>ここに記載してあることは、各学校で必ず実施してもらうので、全てを入れ込んでしまうと学校が実施しきれないという状況になってしまうというところもある。</p> <p>ここに記載すれば、絶対に実施するように、教育課程に入れるというのはそういうことなので、精選していることは確かである。</p>
教育委員	<p>中学校と高等学校の連携は、構想図の中にはなくても、連携が見えてくるような必要があるのではないかと。高梁中学校では、中学校の授業を高等学校の教員が見に来る、高等学校から出前授業など高梁城南高校や高梁高校といくらかはあった。高等学校も地元の中学校と交流したいという思いは持っている。そういう意味では「連携」という文字があってもよいのではないかと。学校の負担となるようでは、続</p>

教育委員	<p>かないし、意味がない。意外に中学校と高等学校の間にお互い知らないという溝がある。(市内に)市立、県立、私立の高等学校があるだけに、もっと連携していかなければならないのではないかと思う。</p> <p>高梁市の教育施策を考えていく時、ずっと先を考えて、高梁市の中学生が高梁市の高等学校に入学しないというのはよいことではないと思う。大学と高校の関係は、そのまま中学校と高等学校の関係となると考える。県南指向の中学生を作ってほしくない。同じレベルであるならば、地元の高校へ行き、しっかり勉強して地域のために頑張りたいなどの思いを持ってほしいという気持ちがあるので、ここに「連携」がないのは気にかかる。接続、連携、連携と入れるのがよいのか、抜くのがよいのか、抜いたら校長会で説明しにくいのではないか。もし、中高に「連携」を入れた場合、それが学校の教育活動を拘束しすぎて困るようであれば、入れないほうがよいだろうし、中高の連携の意味はこうであるという思いを持って入れるのであれば、互いによく知って、地元の高校を大事にしたい気持ちを持つように、教育課程の中でもそのような工夫をするような事を、現場の先生も思ってもよいのではないか。そこで働く教員が、地元の高校の良さを説明できないのは寂しいことなので、そういう意味での「連携」と考えた場合は、あってもよいのかなと思う。高校と言う時に、市立しか考えていないというのはあまりにも狭義ではないか。県立、市立、私立があるのが高梁市の特徴であり、無くしてはならない。</p>
教育委員	<p>「連携」を今回あえて入れろとは言わない。校長会など色々な所から意見を聞きつつ、学校がこれを見てやる気が出なければいけない。あまりがんじがらめにするのはどうかと思う。一言で言えばなんですかというところもあり、言葉だけに着目しすぎてはいけないが、こういったプランは、ぱっと見て、誰もが意欲を持って、なるほどと思わなければ、結局、絵に描いた餅になってしまうという難しさがある。取りあえずこれで実施し、先生方の意欲がどうなっていくのか、学校が具体的にどのような施策を取って行こうとするのかに期待したい。</p>
教育委員	<p>高等学校の再編の話もある。子供が行きたい高校にして欲しい。先生の口添えもあるので、先生の連携もお願いしたい。これからは、地元の事も考えて、中学校高等学校の連携も大切である。</p>
教育委員	<p>地元の高校へ進学する流れを作っていただきたい。高校生が中学校に教えに来てくれるなど部活動などで交流ができるなら、「連携」を入れてもよいと思う。</p>
教育長	<p>中学校へ、保護者を含めた高校の説明会をしたいとの話があったが、中学校では何度も参観日はできないということで、高校の説明会を受け入れてもらえない、高校がアンケートを行おうとしても、教育委員会を通してからでなければという状況がある。市内に高校を残してほしいという中で、構想図に「連携」というのがないというのは致命的である。今の段階で「連携」を入れてもよいかもしれない。具体的な事でいうと、高校からの働き掛けを中学校はしっかり受けるとか、中学校でも、地元でもしっかり勉強できる環境があることを教員も伝えるとか、受ける高校の方もそのような期待に応えて頑張ってもらいたいというというようなことも含めて、今より踏み込めるようであれば「連携」を付け加えてもよいのではないか。</p>
教育委員	<p>構想図は、作り手がどうありたいかという事を示すものである。強い思いがあれば、意欲を鼓舞するという意味でも入れておけばよいと思う。これから先、教育しかないと思っている。かなり先を見て、方向付けをしておくという意味も構想図に</p>

教育長	<p>はある。</p> <p>構想図の中学校と高等学校の「連携」を入れ、構想図の説明にも、今考えられるその連携の具体的な説明を入れるということによいか。</p>
教育委員 社会教育課長	<p>「就学前教育保育課程の実施」は、私立にもお願いすることになるのか。</p> <p>高梁市の子供は全て同じくという事で、私立を含めての内容で、教育体制を求め、成果品についてもフィードバックという状況である。</p>
教育長 教育委員	<p>温度差はあるが、全部の所で対応してもらおうようお願いしている。</p> <p>教育目標の中に、こども園の人数が入っていない。小さい事だが、そういうところから連携の一つになるのかなと思う。更に、私立の人数も入れれば、分かりやすいのではないか。</p>
教育次長 教育長	<p>当然あってもよいと思うので、入れるように考えさせていただく。</p> <p>今は、保育園の指導部分は教育委員会にある。将来的には幼稚園、保育園の壁をできるだけなくすという中で、現在、運営部分は、こども未来課、指導部分は、教育委員会という役割分担となっているので、言われることはもっともである。</p>
教育委員	<p>構想図の説明において、「郷土の偉人に学ぶ」のところで、読み物資料をせっかく作ったのに、「各小中学校1回は扱う。」というのは、どういう意味であるか。</p>
学校教育課長	<p>意味合いは、1回以上ということである。道徳が教科化され、教科書があるため、むやみやたらに教科書に差し替えて使えないという指導もあり、そこで教える項目等が上手く合致するように、読み物資料を使うようにしていきたいと考えている。最低1回は扱ってもらおうよう考えている。</p>
教育長 学校教育課長	<p>小学校6年で1回だけか。小学校2回ぐらいはということではなかったか。</p> <p>小学校で2年生と6年生というイメージで作っている。せっかく出来たので回数を増やしたいというところはある。読み物資料も低学年、中学年、高学年別、中学校向けというものが出来ていないので、30頁ぐらいの資料ができていますが、全部を道徳の時間1時間で扱うというのは無理なので、どこかを切り取り使うよう、できるだけ小学校の低学年、中学年、高学年、中学校の段階で使ってほしいという思いはあるが、どこかの段階で最低1回は扱うということで書いている。</p>
教育委員	<p>道徳を学ぶ会で、低学年と高学年のものが出来ている。今は、道徳の評価のことがテーマとなっており、平成30年度には中学校のものも作りたいという思いはある。道徳をきちんとしようと思えば、手順を踏まなければならない。もちろん、総合的な学習の時間や社会科の時間に読み物資料を活用し、指導案を作ればよいと教育委員会では思っているのではないかと思うので、今のところは1回でよいのではないか。</p>
教育長	<p>教案なしでも授業を行うことはできる。もっと気楽に使ってほしい。教案が一つあれば、それを参考にまた拡げていくことが出来るというような扱いである。文部科学省が、できるだけ差し込みとか変えないようにしようというのは、基本的に国語なども含めて、全体として教科書をしっかり使ってするというのに、学校は反発してということをして今まで繰り返していた。その一環ぐらいであるので、それほど気にすることではないと思っている。ただ、8項目はきちんと教えなければならないし、計画的でなければならないことは確かである。1回が最低と入れるのも一つであるかなと思う。また、構想図の説明については、運用していくと変わっていくと思う。高梁は、山田方谷、有漢は、綱島梁川で作ってもらったが、哲学者なので、</p>

<p>教育長</p>	<p>あまりにも難しく、梁川を中心とした総合的な書き物になっており、川上町は、江草安彦、成羽町が、児島虎次郎、備中町が、宮本隆で、旧1市4町内全てでできている。長い物だが一部を切り取り、加工すれば使えると思う。ホームページで配信し、各学校で使ってもらおう。山田方谷については、約300万円の予算で、15分くらいのアニメを作ってもらっている。今後予定している仮の名前であるが、旧図書館を利用した方谷記念館など様々な所に置き、観光客などにも見てもらい、方谷さんを知ってもらえればよいと思う。</p> <p>他に質問等はあるか。なければ修正、加筆した上で承認に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手) 報告第2号は、承認する。</p> <p>議案第1号「高梁市体育施設条例の一部を改正する条例」は、議案に沿って事務局より説明。</p>
<p>教育長 教育委員 スポーツ振興課長</p>	<p>何か質問等はあるか。 使用料に市民割引はないのか。 市外使用者は、もともと倍額となっている。</p>
<p>教育長</p>	<p>他に質問等はあるか。なければ議案に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手) 議案第1号については、可決する。</p> <p>議案第2号「高梁市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則」は、議案に沿って事務局より説明。</p>
<p>教育長</p>	<p>何か質問等はあるか。なければ議案に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手) 議案第2号については、可決する。</p>

5. その他

<p>教育委員</p>	<p>給食センターのホームページのアップに感謝する。あと、どの給食センターがどの学校に配送しているかと食材の産地が掲載されるとよいと思う。</p> <p>広がる子どもの夢事業のオーケストラがやって来るについて、小中学校が対象であったとも聞いているが、学校からのチラシがなければ、他で宣伝を見なかった。行ってみるとやはり人が少なく、文化会館のホールを使っているのにもったいないし、オーケストラの方にも失礼であると思った。小中学校が対象であっても、広報紙に掲載するとか、チラシを作るなどしっかり宣伝をして欲しい。宣伝の仕方も考えて欲しい。教育委員会は後援であるかもしれないが、しっかりバックアップした方がよいのではないか。</p> <p>学校再編推進審議会の意見聴取会を一般の人も対象として開催しているが、どの</p>
-------------	---

<p>教育委員 教育総務課長</p>	<p>くらい一般の人が知っているのかと思った。広報紙にも出ていない。吉備ケーブルの行政放送には少し出ていたが、契約していない人は見えない。では誰が知っているのかと思った。広報紙には意見募集は掲載されていたが、実際に意見聴取会をしているのを知らないままにしているので、どうなのかと大変疑問に思った。</p>
<p>教育委員</p>	<p>P T Aには文書が出ていた。役職には出ているのか。 再編の周知は、吉備ケーブル、データ放送、ホームページの意見募集の欄で会場の告知をし、山陽新聞にも掲載して告知をした。それとは別に、まちづくりの役員には全員に文書を郵送し、各小学校、中学校、幼稚園、保育園、保育園の役員、保護者の方へも学校を通じて案内をしたという状況である。例えば、高梁中学校区であれば、範囲も広いので、200通以上は案内をしている。他の地域も、70、50件というように案内はしている。来られる方は少なく、周知が足りなかったのか、関心をどの程度持っているのか、難しいと感じている。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>関心を持っている者でも、終わってから知ったという状況がある。P T Aの役員であれば分かるが、地域の人は知らないままで終わっていると思うので、役員などに直接送ったのはよいが、役員でなく意見を持っているような人には届いていないと感じている。幼稚園にも小学校にも通っていない赤ちゃんを抱えており、将来的には中学校に行く一番関わるような母親などには、説明会があるという情報が入らないと感じた。</p>
<p>教育長</p>	<p>意見聴取会の案内のこともあるが、パブリックコメントではないが、意見募集もかけている。ただ、件数は数件程度しか来ていない。会場に来られた方について、全ての方が会場で意見を言えないと思ったので、意見募集の用紙も配付し、後で各センターや教育委員会に提出できるようにした。少しでも多くの意見を聞き、審議会で検討できるような形は取っている。</p>
<p>教育委員</p>	<p>意見聴取会を7回行い、合計で200人くらいになりそうである。人口が3万以上であるので、150人に1人ぐらいの参加ということになる。行ってみると、割と広報している気はしている。役員や団体の人が来ているので、帰って払ってもらえればよいと思っている。学校からは、来たり、来なかったりで、学校の先生にもう少し来て欲しい。広報が遅れたというのは確かであると思うが、会場の限界などもある。</p>
<p>教育委員</p>	<p>気になるのは、2歳の子供が小中学校に行く時に、学校がどうなっているのかが一番関心事であるが、赤ちゃんを抱えている人は、先になると変わるという事など考えてもいないし、自分が育てる事に精一杯であるし、目先の幼稚園の事しか考えていない母親が多くいる中で、実はこういう事を考えており、こういうこともあるという事を見える形で教えて欲しい。母親クラブの団体に広報してみるとかである。題目だけ見て、自分に関わると思わない。具体的に説明を聞いた時に初めて、少し関係するかもと感じるので、もう少し上手く、一番関係するところにしっかり行き届く広報の方法があると良いと思った。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>行政無線放送に効果がある。高齢化で、新聞は取らない人がいる。吉備ケーブルも見ない人がいる。 広がる子どもの夢事業は、各種団体にも広報をかけたが、そこから先が上手く伝わっていない可能性がある。オーケストラというのも、取りつきにくかったのかなとも思う。広報の仕方についても、前向きにどのように取り組めばよいかやっ</p>

教育長	きたい。 文化祭などで一緒にするとかして、止める勇気も必要かもしれない。来て下さいという事だけで本当によいのかという所もあり、昨年度の準拠などから相当に考えていかなければならないと思う。よいからやっているのだが、その中でも精査する必要性はあると思う。予算の中でも少し行っている。続けるならば、広報の方法なども考えていかなければならない。
-----	---

6. 閉会 午前12時00分閉会

高梁市教育委員会会議規則第21条第2項の規定により、ここに署名する。

平成29年2月26日

署名委員 吉川 昭

署名委員 山内 廣子

作成職員 西川 優子